

昭和55年度落葉果樹関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和55年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、昭和55年12月12日(金)、協和銀行秋葉原支店4階会議室(東京都千代田区神田和泉町1)において、試験場関係者および委託関係者83名参集のもとに開催された。

調節剤12薬剤合計66点について各試験場担当者の報告、その質疑応答ならびに慎重な検討が行なわれた。

その判定結果は、次に掲げる判定表のとおりである。

当検討会では、除草剤6薬剤合計27点、生育

昭和55年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A. 除 草 剤

作物名	薬剤名 ○ 種類名 ● 商品名	剤型	有効成分および含有率(%)	委託者名 (会社)	担当場所 (数)	試験の種類・処理方法; 処理時期; 使用量(製品)	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. ブドウ	(1) AH-501 ① ○ パラコート ● _____	液剤	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジリウムジクロライド 7.7%	旭化成工業	山形園試, 栃木農試, 石川砂丘地農試, 福岡園試. (5)	適用性試験 樹園地下草・一年生雑草全般, 除草効果および薬害の検討; 春期および夏期, 雑草生育期; 70, 100 ml/a (水量10 l/a); 茎葉処理. ＜対照＞グラモキシオン液剤20ml/a.	新 実・ 継	実: [一年生雑草対象] 春・夏雑草生育期, 70~100 ml/a (水量10 l/a), 茎葉処理. 継: [検討事項] ①効果の確認. ②薬害試験.
	(2) MW-801 ○ _____ ● _____	液剤	(2-アミノ-4-メチルホスフィノープチル)-アラニルアラニンモノナトリウム塩 32.0% (酸として30.0%)	明治製菓	山形砂丘地農試, 長野中信農試, 大阪農技センター, 島根農試, 香川農試府中分場, 福岡園試. (6) 山梨果試, 大阪農技センター. (2)	適用性試験 樹園地下草・一年生雑草全般, 除草効果および薬害の検討; 春期および夏期, 雑草生育期; 50, 75, 100 ml/a (水量10 l/a); 茎葉処理. ＜比較＞パラコート. 薬害試験 根からの吸収による薬害の検討; 春期および夏期; 200 + 200 ml/a	継 実	● [一年生雑草対象] 春・夏雑草生育期, 50~75 ml/a (水量10 l/a), 茎葉処理.

作物名	薬剤名 ○ 種類名 ● 商品名	剤型	有効成分および含有率(%)	委託者名 (会社)	担当場所 (数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 使用量(製品)	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. ブドウ (つづき)	(2) MW-801 (つづき)					(連用), 春期または夏 期 500 ml/a; 土壌処理.		
2. ニホン ナシ	(1) MON-39 ○ グリホサ ート ● ラウンド アップ	液 剤	N-(ホスホノ メチル)グリシ ンのイソプロ ピルアミン塩 41.0 %	日本モン サント	千葉農試, 鳥取果試. (2)	適用性試験 樹園地下草・多年生雑 草, 除草効果および薬 害の検討と処理時期の 拡大; 6月下旬~7月 (草高50cm以上)およ び9月(生育成長期, 草 高50cm以上), 雑草生 育期; 150, 125, 100倍 液(水量10 l/a); 茎葉 処理.	継 実	● [雑草全般] 春・夏雑草生育期, 一年生雑草; 25~ 50 ml/a, 多年生雑 草; 50~100 ml/a, (水量5~10 l/a), 茎葉処理(スポット 処理を含む).
					長野南信農 試. (1)	薬害試験 根からの吸収による薬 害の検討; 春期および 夏期 200 + 200 ml/a (連用), 春期または夏 期 500 ml/a; 土壌処理.		
	(2) YF-97 ○ _____ ● _____	水 和 剤	成分未公開	アイ・シ ー・アイ ・ジャパ ン	福島果試, 埼玉園試, 長野南信農 試, 広島果 試, 大分農 技センター. (5)	適用性試験 樹園地下草・雑草全般, 除草効果および薬害の 検討; 雑草生育期(草 高30cm前後); 20, 30, 40 ml/a; 茎葉処理. <比較> パラコート 30, 40 ml/a.	新 継	● 成分未公開, 試験 年次不足. [検討事項] ①効果の確認(20 ~40 ml/a). ②処理時期の検討. ③薬害試験.
3. モモ [成木]	(1) linuron ○ リニウロ ン ● デュボン ロック ス	水 和 剤	3-(3,4-ジ クロルフエニ ル)-1-メト キシ-1-メ チル尿素 50%	デュボン ・ファー イースト 日本支社	福島果試, 山梨果試, 岡山農試. (3)	適用性試験 樹園地下草・一年生雑 草およびオオバコ等多 年生雑草, 除草効果お よび薬害の検討; 春期 および夏期雑草発生前 ~発生前期; 30, 40 g/a (水量10~15 l/a); 土 壌処理. <比較> DCMU 水和 剤.	新 継	● 試験年次, 例数不 足. [検討事項] ①効果の確認(特 に, 春と夏の効果 の差). ②薬害試験.
4. カキ	(1) MON-39 ○ グリホサ ート	液 剤	グリホサート :(前掲) 71%	日本モン サント	愛知農総試 園研, 和歌 山果園試紀	適用性試験 ニホンナシと同じ.	継 実	● ニホンナシと同じ.

作物名	薬剤名 ○ 種類名 ● 商品名	剤 型	有効成分およ び含有率(%)	委託者名 (会社)	担 当 場 所 (数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 使用量(製品)	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
4. カキ	(1) MON-39 (つづき)				北分場. (2)			
					山形砂丘地 農試. (1)	薬害試験 ニホンナシと同じ.		

B. 生育調節剤

作物名	薬剤名 ○ 種類名 ● 商品名	剤 型	有効成分およ び含有率(%)	委託者名 (会社)	担 当 場 所 (数)	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 処理濃度	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. ブドウ [全品種]	(1) CaCO ₃ ○ 炭酸カル シウム ● クレフ ノ ン	水 和 剤	炭酸カルシ ウム 95%	白石カル シウム	果試安芸津 支場, 長野 中信農試, 山梨果試, 香川農試府 中分場. (4) 〔自主〕香川 農試府中分 場. (1)	基礎試験 花振り防止・着色促進 等品質向上・落葉防止 ・耐寒性増強(ねむり 病防止)・マグネシウ ム欠乏回避等々。(そ の他場に一任).	継 継?	● 効果不明確. (剤の改良を要す).
[デラウ エア]	(2) KWG - 91 ○ ジベレリ ン ● _____	錠 剤	ジベレリン 4.5%	協和醗酵 工業	秋田果試天 王分場, 神 奈川園試, 山梨果試, 石川砂丘地 農試. (4)	適用性試験 無核化, 熟期促進効果 について市販品との比 較検討; 満開14日前お よび満開10日後, 100 ppm, 花・果房浸漬処 理. 〈対照〉市販品錠剤等.	継 実	● 従来剤(市販薬剤) に準ずる.
[巨 峰 ピオー ネ]	(3) ACP - 68-250 ○ エテホン ● エスレル -10	液 剤	2-クロロエ チルホスホン 酸 10%	2,4-D 協議会 〔日産化〕 学工業, 石原産 業	果試安芸津 支場, 栃木 農試, 長野 中信農試, 新潟園試, 京都丹後農 研, 広島果 試. (6) 〔自主〕京都 丹後農研. (1)	適用性試験 花振り防止効果(着粒 数増および良形果房収 穫); 新本葉6~7枚 展葉期; 10, 15, 20ppm; 立木全面処理.	継 実・継	実: [花振り防止効 果] 新本葉6~7枚展 葉期, 15~20 ppm, 立木全面処理. 〈注意事項〉 ①極端に樹勢が強 い場合は, 安定型 に移行させる努力 が必要である. ②極端に樹勢が弱 い場合は使用しな い. 継: [検討事項] ①効果の年次変動

作物名	薬 剤 名 ○ 種類名 ● 商品名	剤 型	有効成分および含有率(%)	委託者名 (会社)	担 当 場 所 (数)	試験の種類、処理方法; 処理時期; 処理濃度	新継 の別	判定理由または内容																					
							今回 判定																						
1.ブドウ (つづき)	(3) ACP- 68-250 (つづき)							②樹勢が弱い樹について、処理法(10 ppm)を検討する。 ③エスレル処理に適した整房技術の確立。 ④処理方法(塗布処理)。																					
〔デラウ エア〕	(4) KT-30 ○ _____ ● _____	液 剤	N-(2-クロ ル-4-ピリ ジル)-N-フ ェニル尿素 0.4%	協和醗酵 工業	山形園試, 長野中信農 試, 山梨農 試, 大阪農 技センター, 島根農試, 広島果試。 (6)	適用性試験 花振り防止および果粒 肥大効果; 果房浸漬処 理。 <table><tr><td>区</td><td>前 処 理</td><td>後 処 理</td></tr><tr><td>1</td><td>(満開14 ・15日前) GA・KT -30</td><td>(満開10 日後) GA・KT -30</td></tr><tr><td>2</td><td>GA・KT -30</td><td>G A</td></tr><tr><td>3</td><td>G A</td><td>GA・KT -30</td></tr><tr><td>4</td><td>(対照) GA・BA</td><td>G A</td></tr><tr><td>5</td><td>(満開12 日前) GA・KT -30</td><td>G A</td></tr><tr><td>6</td><td>(満開18 日前) GA・KT -30</td><td>G A</td></tr></table> {現地混用} KT-30 : 20, 40 ppm, GA : いずれも100ppm, BA : 100 ppm.	区	前 処 理	後 処 理	1	(満開14 ・15日前) GA・KT -30	(満開10 日後) GA・KT -30	2	GA・KT -30	G A	3	G A	GA・KT -30	4	(対照) GA・BA	G A	5	(満開12 日前) GA・KT -30	G A	6	(満開18 日前) GA・KT -30	G A	新 継	● 試験年次不足。 〔検討事項〕 ①処理濃度 ・満開前(1回 目)処理。 ・満開後(2回 目)処理。 ・満開前および 満開後(併用) 処理。 ②処理時期 ・前処理。 ・併用処理。 ③GA濃度 ・前処理。 ・併用処理。 ④葉害(果粉のお ちなど)。 ⑤適用場面および 品種の拡大。
	区	前 処 理	後 処 理																										
1	(満開14 ・15日前) GA・KT -30	(満開10 日後) GA・KT -30																											
2	GA・KT -30	G A																											
3	G A	GA・KT -30																											
4	(対照) GA・BA	G A																											
5	(満開12 日前) GA・KT -30	G A																											
6	(満開18 日前) GA・KT -30	G A																											
〔デラウ エア他〕	(5) TAG-1 ○ _____ ● _____	水 和 剤	成分未公開	トモノ農 業	山形園試, 山梨果試, 岡山農試。 (3)	適用性試験 花振り防止効果; 果房 浸漬処理; 前処理: 満 開10~15日前, 後処理: 同10日後; (単位: ppm) <table><tr><td></td><td>前 処 理</td><td>後 処 理</td></tr><tr><td>区</td><td>TAG-1 ・ GA</td><td>G A</td></tr></table>		前 処 理	後 処 理	区	TAG-1 ・ GA	G A	新 継	● 成分未公開, 試験 年次, 例数不足。 〔検討事項〕 ①処理濃度(5 ppm 以下の濃度で)。 ②処理時期。 ③葉害その他の影 響。 ④巨峰およびその															
	前 処 理	後 処 理																											
区	TAG-1 ・ GA	G A																											

作物名	薬 剤 名 ○ 種類名 ● 商品名	剤 型	有効成分および含有率(%)	委託者名 (会社)	担 当 場 所 (数)	試験の種類、処理方法; 処理時期; 処理濃度	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容															
1.ブドウ (つづき)	(5)TAG-1 (つづき)					<table><tr><td>1</td><td>25・100</td><td>100</td></tr><tr><td>2</td><td>50・100</td><td>100</td></tr><tr><td>3</td><td>100・100</td><td>100</td></tr><tr><td>4</td><td>(対照)</td><td>100</td></tr><tr><td></td><td>BA 100</td><td></td></tr></table> [現地混用]	1	25・100	100	2	50・100	100	3	100・100	100	4	(対照)	100		BA 100			他の品種について。
1	25・100	100																					
2	50・100	100																					
3	100・100	100																					
4	(対照)	100																					
	BA 100																						
〔ベリー A〕	(6) B A ○ サイトカイニン ● ビーエー	乳 剤	N ⁶ -ベンジル アミノプリン 3%	クミアイ 化学工業	兵庫農総センター農試, 岡山農試, 広島果試, 香川農試府中分場。 (4)	適用性試験 ジベレリンの処理時期 ・ 幅の拡大; 果房浸漬 処理; 前処理…満開20, 18, 14日前, 後処理… 満開10日後。 (単位: ppm) <table><tr><td>区</td><td>前 処 理</td><td>後 処 理</td></tr><tr><td></td><td>BA・GA</td><td>GA</td></tr><tr><td>1</td><td>100・100</td><td>100</td></tr><tr><td>2</td><td>150・100</td><td>100</td></tr></table> [現地混用] (露地およびハウス)	区	前 処 理	後 処 理		BA・GA	GA	1	100・100	100	2	150・100	100	新 実	●〔花振い防止(着粒増加)効果〕 露地: 満開11～14日前, 100～150ppm+GA 100ppm および満開10日後, GA 100ppm 果房浸漬処理。 簡易被覆: 満開11～13日前, 100ppm+GA 100ppm および満開10日後, GA 100ppm 果房浸漬処理。 ハウス: 満開11～14日前, 100ppm+GA 100ppm および満開10日後, GA 100ppm 果房浸漬処理。 ＜注意事項＞ ①樹勢の強い樹に使用する。 ②処理適期を厳守する。			
区	前 処 理	後 処 理																					
	BA・GA	GA																					
1	100・100	100																					
2	150・100	100																					
〔巨峰, ピオーネ〕	(7) PCPA・GA ○ 4-CPA ● ジベレリン ● トマトーン・ジベレリン	液剤・顆粒または錠剤	4-CPA: 4-クロロフェノキシ酢酸 0.15% GA: ジベレリン 3.1 または3.58%	2,4-D協議会 (前掲) 日本ジベレリン研究会 〔協和醗酵工業, 武田薬品工業, 明治製薬〕	長野中信農試, 山梨果試, 愛知農総試園研, 広島果試, 佐賀果試。 (5)	適用性試験 無核化の形成, 着粒数の安定化および熟期促進効果; 果房浸漬処理; 前処理…開花始の5～0日前, 後処理…満開10日後。 (単位: ppm) <table><tr><td>区</td><td>前 処 理</td><td>後 処 理</td></tr><tr><td></td><td>PCPA・GA</td><td>GA</td></tr><tr><td>1</td><td>15・10</td><td>25</td></tr><tr><td>2</td><td>15・25</td><td>25</td></tr></table>	区	前 処 理	後 処 理		PCPA・GA	GA	1	15・10	25	2	15・25	25	継 実	●〔無核化, 熟期促進および着粒の安定化効果〕 開花始2～5日前, PCPA 15ppm+GA 10～25ppm および満開10日後 GA 25ppm, 果房浸漬処理。 ＜注意事項＞ ①樹勢が強く, 着粒不安定な樹に使用する。			
区	前 処 理	後 処 理																					
	PCPA・GA	GA																					
1	15・10	25																					
2	15・25	25																					

作物名	薬 剤 名 ○ 種類名 ● 商品名	剤 型	有効成分および含有率(%)	委託者名 (会社)	担 当 場 所 (数)	試験の種類、処理方法; 処理時期; 処理濃度	新継 の別	判定理由または内容								
							今回 判定									
1.ブドウ (つづき)	(7)PCPA・GA (つづき)					<table><tr><td>区 前 処 理</td><td>後 処 理</td></tr><tr><td>3</td><td>PCPA・GA</td></tr><tr><td>15・10</td><td>15・25</td></tr><tr><td>4 15・25</td><td>15・25</td></tr></table> [現地混用]	区 前 処 理	後 処 理	3	PCPA・GA	15・10	15・25	4 15・25	15・25		②整房を条件とする。 ③大房にしない。 ④ショットベリーは、樹勢が弱い か、異常に徒長して粗着になった場合に多く発生するので、摘粒あるいは摘芯等の手段で回避するよう努める
区 前 処 理	後 処 理															
3	PCPA・GA															
15・10	15・25															
4 15・25	15・25															
〔巨 峰〕	(8)ACP-68-250 ○ エテホン ● エスレル-10	液 剤	前 掲 10%	2,4-D 協議会	岡山農試, 広島果試, 香川農試府中分場, 佐賀果試。 (4)	適用性試験 果肉先熟で赤熟果となる果実の着色促進効果 果実着色カラーチャート3～4の時期; 75, 100, 150 ppm; 立木全面処理。	継	実:〔赤熟防止効果〕 果実色(カラーチャート)平均3～4の時期,75～100 ppm, 立木全面処理。 継:〔検討事項〕 ①効果の確認。 ②樹上脱粒の検討。								
							実・継									
2.ニホンナシ 〔二十世紀他青ナシ, 長十郎他赤ナシ。〕	(1) A-365 ○ 2,4-DP ● _____	液 剤	2,4-ジクロロフェノキシ-2-プロピオニックアシド 3.2%	ユニオン・カーバイド日本	＜青ナシ＞ 福島果試, 長野南信農試, 鳥取果試, 福岡園試。 (4) ＜赤ナシ＞ 茨城園試, 栃木農試, 埼玉園試, 神奈川園試, 新潟園試。 (5)	適用性試験 収穫前落果防止効果; 収穫開始予定7日および14日前; 10, 15, 20 ppm; 立木全面処理。	継	●〔収穫前落果防止効果〕 青ナシ: 収穫開始予定7～14日前, 15～20 ppm, 赤ナシ: 収穫開始予定7～14日前, 10～15 ppm, (水量20ℓ/a), 立木全面処理。 ＜注意事項＞ ①極端な樹勢不良樹には使用しない。 ②展着剤は加用しない。								
							実									
〔同 上〕	(2) GR-58 ○ MCPB ● _____	乳 剤	2-メチルー4-クロロフェノキシ酪酸エチル 20%	兼 商	＜青ナシ＞ 福島果試, 長野南信農試, 鳥取果試。 (3) ＜赤ナシ＞	適用性試験 収穫前落果防止効果; ①収穫直前;30, 40ppm。 ②収穫開始予定5日前および10日後(反復); 30,(20)ppm; 立木全面	継 実	●〔落果防止効果〕 収穫直前30～40 ppm(水量20ℓ/a), 立木全面処理。								

作物名	薬 剤 名 ○ 種 類 名 ● 商 品 名	剤 型	有効成分およ び含有率(%)	委託者名 (会社)	担 当 場 所 (数)	試験の種類、処理方法; 処理時期、処理濃度	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1.ニホン ナシ (つづき)	(2) GR-58 (つづき)				栃木農試, 千葉農試, 神奈川園試 (3)	処理.		
[全品種]	(3) KGW- 81-WO ○ ジベレリ ン ● ジベレリ ン協和ペ ースト	ペ ース ト剤	ジベレリン 2.7%	協和醗酵 工業	長野南信農 試, 新潟園 試, 鳥取果 試, 佐賀果 試. (4) 〔自主〕秋 田果試天王 分場, 愛知 農総試験園. (2)	適用性試験 果実肥大および熟期 促進効果; 満開30~ 40日後; 20 mg/果; 果梗部塗布処理. 〈比較〉 KGW-81 従来剤.	継 実	●〔果実肥大および 熟期促進効果〕 満開30~40日後, 20 mg/果, 果梗部 塗布処理. 〈注意事項〉 ユズハダの発生が 多い樹には使用し ない.
[三 水]	(4) BA ○ カイネチ ン ● ビーエー	乳 剤	前 掲 3%	クミアイ 化学工業	福島果試, 茨城園試, 千葉農試, 長野南信農 試, 三重農 技センター, 鳥取果試, 佐賀果試. (7)	適用性試験 短果枝, 側枝発生効 果; 5月下旬, 6月 上~中旬, 6月下旬; 300, 600 ppm, 茎 葉処理.	継 継	●〔検討事項〕 ①効果の年次変動. ②部分処理で行な う. ③処理時期の基準 (満開後の日数, その他)を決め る. ④処理濃度(300 ~600ppm)の 確認. ⑤葉害. ⑥花芽のボケ.

昭和54年度常緑果樹関係除草剤試験成績概要等収録薬剤の有効成分含有率の訂正について

昭和54年度常緑果樹用除草剤として供試されましたDDX(DCMU・DCPA・XMC)水和剤の有効成分の含有率〔補助成分としてのXMCの成分量〕に変更がありましたので、下記の通り訂正いたします。

ついては、昭和55年6月発行の本誌(植調第14巻第3号)に掲載されている当該試験成績概要ならびに関係試験成績書内のDDX水和剤に関する有効成分含有率のご訂正をお願いいたし

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

ます。

なお、このことについては、委託者より、昭和54年4月10日付文書にて成分変更願いが提出されております。ご報告(発表)が遅れたことを深くお詫び申し上げます。

記		
	旧	新
DCMU	10%	10%
DCPA	40%	40%
XMC	8%	3%